

# 2018年 夏（6月～8月）の天候経過

平成30年9月3日  
新潟地方气象台

## 1. 北陸地方の今夏（6月～8月）の特徴

### 【かなりの高温・かなりの多照】

平年より早く梅雨明け（7月9日ごろ）して盛夏となり、太平洋高気圧とチベット高気圧の張り出しがともに強く晴れて厳しい暑さの日が続いた。1946年の統計開始以来、7月としては、月平均気温が最も高く、月間日照時間が最も多かった。

気温は、6月と8月は高く、7月はかなり高かった。3か月平均気温はかなり高かった。

降水量は、6月は少なく、8月はかなり多かった。3か月合計の降水量は平年並となった。

日照時間は、6月は多く、7月はかなり多かった。3か月日照時間はかなり多かった。

## 2. 3か月平均（合計）と月別の平均気温・降水量・日照時間の平年差（比）と階級

北陸地方平均	6～8月	6月	7月	8月
平均気温平年差 階級	+1.5℃ かなり高い	+0.9℃ 高い	+3.0℃ かなり高い	+0.8℃ 高い
降水量平年比 階級	100% 平年並	62% 少ない	76% 平年並	175% かなり多い
日照時間平年比 階級	129% かなり多い	118% 多い	179% かなり多い	100% 平年並

（注）北陸地方平均：北陸地方にある気象官署及び特別地域気象観測所（9地点）ごとの平年差（比）を平均したもの

## 3. 月別の天候経過

### （6月）【天気は概ね数日の周期で変化した。高温・少雨・多照】

上旬は、期間の前半は高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、期間の後半は気圧の谷や本州の南海上に停滞した前線の影響により、雨の日が多くなった。中旬は、高気圧に覆われて晴れた日もあったが、寒気や本州南岸に停滞した前線の影響により、雨の日が多くなった。下旬は、期間の前半は高気圧に覆われて晴れた日もあったが、期間の後半は梅雨前線の影響により、雨の日が多くなった。南から暖かい空気が流れ込んだため、気温はかなり高く、日照時間もかなり多くなった。

（7月）【天気は中旬のはじめまでは梅雨前線などの影響により、雨の日が多かったが、その後は、太平洋高気圧の勢力が強く晴れて厳しい暑さの日が続いた。かなりの高温・かなりの多照】

上旬は、期間のはじめと終わりは高気圧に覆われて晴れた日もあったが、期間の中頃は梅雨前線が本州上に停滞したため、大雨となった。気温はかなり高く、降水量はかなり多かった。中旬は、期間のはじめは、気圧の谷の影響により、雨の日もあったが、その後は太平洋高気圧の勢力が強く晴れて厳しい暑さの日が続いた。気温はかなり高く、日照時間はかなり多かった。降水量はかなり少なかった。1961年の統計開始以来、7月の中旬としては、日照時間が最も多かった。下旬は、太平洋高気圧の勢力が強く晴れて厳しい暑さの日が続いた。29日は台風第12号の影響により、雨の降った所があった。気温はかなり高く、日照時間はかなり多かった。降水量はかなり少なかった。1961年の統計開始以来、7月の下旬としては、気温が最も高く、日照時間が最も多かった。降水量は最も少なかった。

### （8月）【天気は概ね数日の周期で変化した。高温】

上旬は、期間の前半は太平洋高気圧に覆われて晴れたが、期間の後半は前線や湿った空気の影響により、曇りや雨となり、大雨となったところもあった。中旬は、高気圧に覆われて晴れた日もあったが、前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、大雨となったところもあった。下旬は、期間のはじめは高気圧に覆われて晴れた日もあったが、その後は台風や前線の影響で曇りや雨の日が多く、大雨となった日があった。気温はかなり高く、降水量はかなり多かった。

#### 4. 大気の流れから見た今夏の特徴（500 h Pa 天気図）

等高度線（実線）の間隔は60m、ハッチ域（陰影部）は平年より高度が低い部分（負偏差域）、白抜き域は平年より高度が高い部分（正偏差域）にそれぞれ対応している。

	<p><b>6～8月</b></p> <p>北極付近が負偏差の一方、北緯30～50度の中緯度は北半球の広い範囲で正偏差となった。日本付近も北～西日本は亜熱帯高気圧の勢力が強く、広く正偏差だった。一方、沖縄・奄美は中心気圧の低い台風を含む熱帯擾乱の影響を頻繁に受けたことなどを反映して負偏差となった。</p>
	<p><b>6月</b></p> <p>北海道の北では高度が低く、北日本は気圧の谷の影響を受けやすかった。一方、日本の東から南東海上にかけては高度が高く、東日本や沖縄・奄美を中心に暖かい空気が流れ込みやすかった。</p>
	<p><b>7月</b></p> <p>偏西風は、ユーラシア大陸上から蛇行が連なり、日本付近は北へ蛇行して顕著な正偏差となり、暖かい空気に覆われやすかった。一方、沖縄・奄美付近は負偏差となり、高気圧縁辺の湿った空気や台風の影響を受けやすかった。また、千島近海にトラフがあり、北海道地方は気圧の谷の影響を受けやすかった。</p>
	<p><b>8月</b></p> <p>シベリアの北極海沿岸が明瞭な正偏差の一方、北極付近を取り囲む高緯度帯では明瞭な負偏差が卓越した。さらにその南の中緯度帯には広く正偏差域が広がり、モンゴル～中国東北区～西・東日本も正偏差だった。一方、深い気圧の谷が数回通過した千島近海～北日本北部は明瞭な負偏差となった。また、沖縄・奄美～日本の南は、中心気圧の低い台風を含む熱帯擾乱が頻繁に通過したことなどを反映して負偏差となった。</p>

## 5. 参考資料

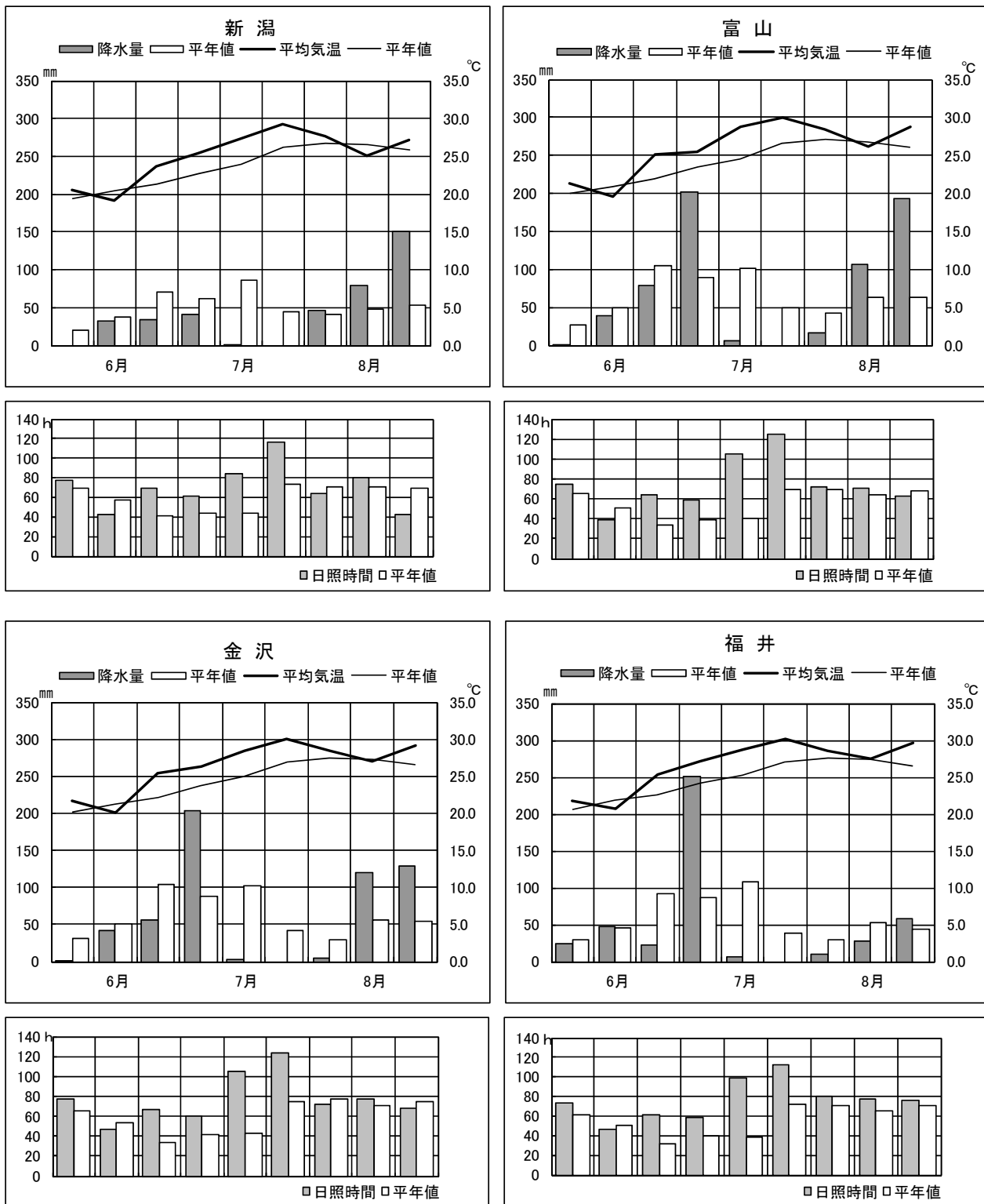


図1 新潟・富山・金沢・福井 旬平均気温・降水量・日照時間時系列

表1 北陸地方における6～8月の平均気温・降水量・日照時間

平均気温	6月		7月		8月		3か月平均	
	実況値 ℃	平年差℃ (階級)	実況値 ℃	平年差℃ (階級)	実況値 ℃	平年差℃ (階級)	実況値 ℃	平年差℃ (階級)
新潟	21.1	+0.6(+)	27.4	+3.1(+*)	26.6	+0.2(O)	25.0	+1.3(+*)
高田	21.4	+0.8(+)	27.5	+2.9(+*)	26.7	+0.4(O)	25.2	+1.4(+*)
相川	20.1	+0.6(+)	26.3	+2.7(+*)	26.1	+0.1(O)	24.2	+1.2(+*)
富山	22.0	+1.1(+)	28.1	+3.2(+*)	27.8	+1.2(+)	26.0	+1.9(+*)
伏木	21.3	+0.8(+)	27.5	+2.9(+*)	27.4	+0.9(+)	25.4	+1.5(+*)
金沢	22.4	+1.2(+)	28.3	+3.0(+*)	28.2	+1.2(+)	26.3	+1.8(+*)
輪島	20.6	+1.0(+)	26.7	+2.8(+*)	26.2	+0.5(O)	24.5	+1.4(+*)
福井	22.6	+1.0(+)	28.7	+3.1(+*)	28.6	+1.4(+)	26.6	+1.8(+*)
敦賀	22.5	+0.8(+)	28.8	+3.0(+*)	28.6	+1.2(+)	26.6	+1.6(+*)
北陸平均		+0.9(+)		+3.0(+*)		+0.8(+)		+1.5(+*)

降水量	6月		7月		8月		3か月合計	
	実況値 mm	平年比% (階級)	実況値 mm	平年比% (階級)	実況値 mm	平年比% (階級)	実況値 mm	平年比% (階級)
新潟	66.5	52(-)	42.0	22(-*)	278.0	198(+*)	386.5	84(O)
高田	54.0	37(-*)	48.0	23(-*)	266.5	177(+*)	368.5	73(-)
相川	115.5	90(O)	162.5	94(O)	183.0	146(+)	461.0	108(O)
富山	118.5	65(-)	207.0	86(O)	316.0	188(+*)	641.5	109(O)
伏木	82.5	49(-*)	136.0	58(-)	296.0	190(+)	514.5	92(O)
金沢	97.5	53(-)	207.0	89(O)	253.0	182(+*)	557.5	100(O)
輪島	115.5	71(-)	178.5	88(O)	448.0	288(+*)	742.0	142(+*)
福井	92.0	55(-)	257.5	110(O)	95.0	74(O)	444.5	84(-)
敦賀	138.0	83(O)	228.5	117(+)	163.0	130(+)	529.5	109(O)
北陸平均		62(-)		76(O)		175(+*)		100(O)

日照時間	6月		7月		8月		3か月合計	
	実況値 h	平年比% (階級)	実況値 h	平年比% (階級)	実況値 h	平年比% (階級)	実況値 h	平年比% (階級)
新潟	189.1	112(+)	262.5	164(+*)	186.1	88(-)	637.7	118(+)
高田	182.8	121(+)	277.6	180(+*)	182.4	94(O)	642.8	129(+*)
相川	174.3	102(O)	256.8	156(+*)	203.6	94(-)	634.7	115(+)
富山	177.1	118(+)	288.7	196(+*)	204.9	102(O)	670.7	135(+*)
伏木	190.7	126(+)	287.8	188(+*)	211.0	103(O)	689.5	135(+*)
金沢	189.5	124(+)	289.4	182(+*)	217.8	98(O)	696.7	131(+*)
輪島	175.7	112(O)	285.8	183(+*)	189.9	92(-)	651.4	125(+)
福井	181.3	127(+)	270.6	181(+*)	232.1	112(+)	684.0	137(+*)
敦賀	158.0	116(+)	262.6	179(+*)	228.0	113(O)	648.6	134(+*)
北陸平均		118(+)		179(+*)		100(O)		129(+*)

注1) 平年値は1981～2010年の資料から求めています。

注2) 階級欄の符号は、以下の事を示します。

(-) : 低い(少ない), (O) : 平年並, (+) : 高い(多い)

(-\*) : かなり低い(かなり少ない), (+\*) : かなり高い(かなり多い)

注3) 値の横に ) や ] がある場合には、使用したデータに欠測等が含まれていることを示し、×は欠測を示します。

) 付きの値は正常の値とみなせますが、] 付きの値は欠測等が多いため正常な値と同等とはみなせません。

このため、統計日数(統計に用いた品質が十分な日数)を气象台等に確認して、品質を確かめてください。

表2 北陸地方における6～8月の階級別日数

	6月			7月			8月		
	最高気温		最低気温	最高気温		最低気温	最高気温		最低気温
官署	30℃以上	35℃以上	25℃以上	30℃以上	35℃以上	25℃以上	30℃以上	35℃以上	25℃以上
新潟	3(1.1)	0(0.0)	0(0.0)	24(9.3)	3(0.8)	7(2.0)	17(17.9)	1(2.1)	9(5.5)
高田	4(2.0)	1(0.0)	0(0.0)	26(13.2)	4(1.1)	3(0.8)	20(20.9)	9(2.9)	4(2.4)
相川	1(0.2)	0(0.0)	0(0.0)	16(5.3)	1(0.3)	4(1.6)	11(12.8)	2(0.6)	9(5.6)
富山	9(2.4)	0(0.1)	0(0.0)	26(12.9)	9(1.6)	9(1.5)	25(19.0)	13(3.5)	11(4.4)
伏木	4(1.9)	0(0.1)	0(0.0)	23(11.4)	7(1.4)	8(1.9)	21(17.9)	5(2.6)	12(5.8)
金沢	5(1.6)	0(0.0)	0(0.0)	27(13.0)	3(0.7)	19(4.1)	26(20.5)	7(1.4)	16(8.8)
輪島	2(0.8)	0(0.0)	0(0.0)	24(8.3)	3(0.4)	3(0.6)	17(15.5)	0(0.7)	5(1.7)
福井	9(3.5)	0(0.0)	1(0.0)	28(15.3)	12(1.4)	16(3.1)	28(23.0)	12(3.8)	15(6.0)
敦賀	6(2.7)	0(0.0)	1(0.1)	27(14.2)	8(1.1)	21(6.3)	27(22.2)	8(2.5)	16(12.6)

注1) 真夏日：日最高気温が30℃以上の日 猛暑日：日最高気温が35℃以上の日

注2) いわゆる「熱帯夜」とは夜間の最低気温が25℃以上の日を指すので、ここに示した日数と異なることもある。  
一般的な意味での熱帯夜日数の統計はない。

注3) カッコ( )内は平年値

表3 北陸地方における6～8月の最高気温

官署	最高気温	起日	順位	これまでの最高	統計開始年月
新潟	39.9	8/23	更新	39.1(1909/8/6)	1886/1
高田	39.0	8/23	更新なし	39.5(1994/8/12)	1922/1
相川	37.8	8/23	更新	37.0(1978/8/3)	1911/4
富山	39.5	8/22	更新	39.5(1994/8/14)	1939/1
伏木	37.2	8/5	更新なし	39.7(1994/8/14)	1883/12
金沢	36.9	8/15	更新なし	38.0(1994/8/14)	1882/1
輪島	37.9	7/29	更新なし	38.2(2000/7/31)	1929/5
福井	37.7	7/29	更新なし	38.6(1942/7/19)	1897/1
敦賀	37.2	7/21	更新なし	37.6(1918/8/13)	1897/10

(参考) 8/23は北陸地方で初めて最高気温40℃を超えた(中条40.8、三条40.4、大潟40.0 いずれも新潟県内のアメダス地点)。

表4 北陸地方における6～8月の累年極値・順位(3位以内)更新

◎月平均気温の高い方からの順位更新

月	順位	官署	実況値 ℃	平年差 ℃	これまでの最高(西暦年) ℃	開始年	平年値 ℃
7	1	新潟	27.4	+3.1	27.1(1978)	1886	24.3
7	1	高田	27.5	+2.9	27.0(1978)	1922	24.6
7	1	相川	26.3	+2.7	26.0(1978/1933)	1911	23.6
7	1	富山	28.1	+3.2	27.1(1978)	1939	24.9
7	1	伏木	27.5	+2.9	27.3(1978)	1884	24.6
7	1	金沢	28.3	+3.0	27.5(1978)	1882	25.3
7	1	輪島	26.7	+2.8	26.0(2017)	1929	23.9
7	1	福井	28.7	+3.1	27.8(1978)	1897	25.6
7	1	敦賀	28.8	+3.0	28.2(1978)	1898	25.8

◎月日照時間の多い方からの順位更新

月	順位	官署	実況値 時間	平年比 %	これまでの最高(西暦年) 時間	開始年	平年値 時間
7	1	高田	277.6	180	273.5(1924)	1922	153.8
7	1	富山	288.7	196	286.1(1939)	1939	147.1
7	1	伏木	287.8	188	272.0(1939)	1893	153.1
7	1	金沢	289.4	182	280.8(1939)	1891	158.9
7	3	輪島	285.8	183	298.0(1939)	1929	156.1

◎月降水量の多い方からの順位更新

月	順位	官署	実況値 mm	平年比 %	これまでの最高(西暦年) 時間	開始年	平年値 mm
8	2	輪島	448.0	288	512.0(1968)	1929	155.8

◎3か月平均気温の高い方からの順位更新

月	順位	官署	実況値 ℃	平年差 ℃	これまでの最高(西暦年) ℃	開始年	平年値 ℃
6~8	1=	富山	26.0	+1.9	26.0(2010)	1939	24.1
6~8	1=	伏木	25.4	+1.5	25.4(2013)	1884	23.9
6~8	1	金沢	26.3	+1.8	26.1(2013)	1882	24.5
6~8	1	福井	26.6	+1.8	26.3(2010)	1897	24.8
6~8	1	敦賀	26.6	+1.6	26.5(2010)	1898	25.0
6~8	2	輪島	24.5	+1.4	24.7(2010)	1929	23.1
6~8	3=	高田	25.2	+1.4	25.4(2010)	1922	23.8

注) =タイ記録を示す

◎3か月日照時間の多い方からの順位更新

月	順位	官署	実況値 時間	平年比 %	これまでの最高(西暦年) 時間	開始年	平年値 時間
6~8	3	富山	670.7	135	777.4(1939)	1939	498.6

## 6. 天候情報発表状況

- 7月17日 15時30分 長期間の高温と少雨に関する北陸地方気象情報 第1号  
 7月30日 15時00分 長期間の高温と少雨に関する北陸地方気象情報 第2号  
 8月9日 15時00分 長期間の高温と少雨に関する北陸地方気象情報 第3号

(注) この季節のまとめは、北陸地方の気象官署および特別地域気象観測所における気象観測値等をまとめたものです。  
 なお、資料は速報値であり後日の調査で修正されることがあります。